

コーポレート・ベンチャー・マネジメント戦略 ～企業進化のための事業創造手法～

§ セミナー内容

1. コーポレート・ベンチャー・マネジメント戦略の基本概念
2. 事業創造による企業進化の進め方
3. 戦略構築手順および戦略推進の要点
4. 事業創造によるビジネスモデル高度化の考え方と推進手法
5. 事業創造パフォーマンスの向上手法
6. 事業インキュベーションシステムの構築手法
7. 事業インテグレーションマネジメントによる既存事業の活性化

§ 参加のお勧め

現代の企業を巡る経営環境変化はますます激しくなっています。その中で企業が成長・発展を図るためには、絶えざる進化が必要です。ところが多くの企業では、環境変化への対応が遅れ、ビジネスモデルの老朽化が深刻な問題になっています。

現実問題として、既存事業の現在のあり方を否定し、時代に合わせたモデルチェンジを図ることは、きわめて難易度が高いといわざるを得ません。したがって既存事業の改革と並行して、将来の柱として新たな事業を創造することは、現代の企業にとって大変重要なテーマであると考えます。しかしながら、新規事業開発が簡単ではないこともまた事実であり、多くの先行事例では「多角化の失敗」批判の対象となっています。

コーポレート・ベンチャー・マネジメント戦略は、このような課題に正面から対峙し、その解決策を提示するものであり、経営戦略の立案や事業開発の推進に当たり、有効性の高い経営手法であると考えています。本セミナーでは戦略構築手法や事業創造の実行手法を具体的に示し、企業進化を達成するための道筋を明らかにします。

以下のような経営課題に対する処方箋を示します

- ①経営を再度成長路線に乗せたい
- ②新規事業開発を推進中であるが、なかなか結果が出ない
- ③既存事業を再活性化させたい

§ セミナー実施要領

日時	平成15年11月21日（金） 13:30～17:00
会場	東京都千代田区一番町16番 株式会社日本総合研究所 1階セミナールーム
受講料	6,000円（消費税を含む）
定員	50名
対象者	経営企画部門、事業企画・開発部門、事業推進部門等のマネージャークラスを対象とします

§ セミナープログラム

セッション1 コーポレート・ベンチャー・マネジメント（CVM）戦略の基本概念

- 従来の多角化戦略ならびに新規事業戦略の問題点を検討し、解決の方向性を示します
- CVM戦略の基本コンセプト・戦略的意義について解説し、戦略のフレームワークを示します

セッション2 コーポレート・ベンチャー・マネジメント（CVM）戦略に関するケーススタディ

- わが国における「事業開発による企業進化」の事例を検証し、成功のポイントを解説します
- 欧米におけるコーポレートベンチャーキャピタルの事例を紹介し、事業開発における投資戦略の活用効果を検証します

セッション3 コーポレート・ベンチャー・マネジメント（CVM）戦略の構築手順

- CVM戦略の構築手順および戦略推進のポイントを具体的に示します
- 事業ドメインマネジメント、事業インテグレーションマネジメントなどCVM戦略を構成するマネジメント手法を解説します
- 新規事業の開発・育成・管理に関して、新規事業を成功に導く仕組みと手法を紹介します

セッション4 総括および提言（今何を行うべきか）

- 企業進化を実現するために「今どんなアクションを起すべきか」について具体策を提言します。

§ セミナー講師

1. 小屋 知幸 (コヤ トモユキ) 弊社上席主任研究員
☞ 専門分野；経営戦略、事業戦略、事業開発戦略、グループマネジメント
☞ 過去30社以上のクライアントに対し、経営改革・収益力強化・事業再構築などの支援を行う
2. 池田 忠史 (イケダ タダフミ) 弊社主任研究員
☞ 専門分野；事業戦略、マーケティング戦略、事業再生戦略、新規事業開発
☞ 新規事業立ち上げ支援、事業戦略・マーケティング戦略策定支援等を行う
3. 富島 正雄 (トシマ マサオ) 弊社副主任研究員
☞ 専門分野；経営戦略、事業戦略、マーケティング戦略
☞ 通信をはじめとするIT産業における経営戦略、マーケティング戦略策定支援等を行う

§ コーポレート・ベンチャー・マネジメント戦略とは何か

CVM戦略の定義

自社の経営戦略上に新規事業を創造することによって、企業全体の改革および将来ビジョンの実現を促進する戦略

CVM戦略の手法

新規事業開発の手法（コーポレート・ベンチャー）と事業投資の手法（ベンチャー・キャピタル）を併用し、事業創造確立を画期的に高める

企業進化の基本フレームおよびCVM戦略の目指す方向

